

＼ご当地マドンナとゆく／

日本全国

ゆるり

アウトドア旅

第23回 三重県

林業の現場を知る！ 山林で「木こり体験」

三重県津市は林業が盛んな地域。2014年に公開された林業お仕事映画『WOOD JOB! (ウッジョブ)～神去ななあ日常～』の舞台になった場所でもある。知られざる林業現場を体験！



今回のマドンナ

左・荒木遥菜さん
右・横山 葵さん

2019年度津クイーンに選ばれたふたり。新型コロナウイルスの影響もあり2020年も継続して活動中！津市の魅力をPRしている。ともに大学4年生で来年からは社会人だ。

今回の先生

藤崎 昇さん

NPO法人もりずむ代表。40歳のときに林業現場に関わりたいと神奈川から三重に移住＆転職。森林や木材の素晴らしさを伝える活動を行なう。



三浦妃己郎さん

創業60年の三浦林商代表兼NPO法人もりずむ副理事。育林、伐採からリフォーム、家具まで。木に関することはなんでもお任せのエキスパート。



今回の旅先は……
三重県津市！

県内でも大きな面積を持ち、東は伊勢湾、西は山深い奈良県境に接する。美杉地区は渡り蝶「アサギマダラ」の飛来や名松線のローカル列車ののどかな景観で水と緑が溢れる。

三重県津市。海と山がある自然豊かなところだ。全体面積のおよそ6割を森林が占める津市は、林業が盛んな地域でもある。しかし、いま日本の林業は元気がない。大きな要因は木材価格の低迷や外国産の輸入材などの存在だ。戦後に植えた木がようやく育つも、活用されず多くの山林は荒廃。山が荒れると土砂災害などの原因にもなり、重大な問題でもある。そんな厳しい状況にある林業という仕事。しかし、国産木材の本来の価値を取り戻し、しっかりと稼げる仕事になれば状況は好転するかもしれない。そうしたコンセプトで設立されたのが今回お世話になった「NPO法人もりずむ」だ。現在ではあまり行なわれなくなった「月齢伐採」や「天然乾燥」など伝統的な方法を用いて木の良さを残す木材作りをしている。子供から大人まで、多くの人に木に親しんでもらいたいと開催しているのが「木こり体験」。実際の林業現場で、木にまつわるさまざまな体験ができる。



ハシゴ登り

枝打ちなどのときに使うハシゴ。一般的なハシゴとは異なり1本の支柱に足場の突起が交互に出ている。ロープで体を確保しつつ登る。



高〜い!!
あんなに高く登れるかなあ



ロープ上げ

木を伐り出す際は山側へ倒す。倒木を誘導する縄をかけるのが「ロープ上げ」。もやい結びで縄を木にかけたら反動で引き上げる!

伐倒も体験。木にヤー(楔)を入れハンマーで打ち込む。最後は三浦さんがチェーンソーで伐倒。切った木には日付を書くのが習わし。

伐倒

いい音〜/
ヤーを叩く音が
森中に
響き渡ってる



チェーンソー

林業現場に欠かせないチェーンソー。ふたりともけたたましいエンジン音に恐る恐る挑戦! しかし、意外とうまくできていた。



切り口は
瑞々しい



すごく
ジューシー!

プランクBBQ

わあ〜
美味しそ

木に親しみを持ってもらいたいとプランクBBQも体験。約20分で肉は艶やかな銜色に。頬ばると木の香りがフワ〜! 激ウマ!



さて、今回のマドンナは「津クイーン」として活躍する荒木遥菜さんと横山葵さん。ウォーミングアップがてらロープ上げをやりましょうか! と、もりずむの藤崎さん。伐倒の際に山側へ倒すために輪っか状の縄を木の上部にかける作業だ。まずは葵さん。「あ、できた!」輪っかは一発でふわりと上へ。続く遥菜さんも「できた!」なかなか筋がいい。林業女子誕生かッ! 枝打ちなどに使うハシゴに登ったり、チェーンソーでの丸太切りにもトライした。道具のひとつひとつが普段の生活では馴染みのない特殊なものばかり。木はこうやって切り出すのかと、興味津々のマドンナたちだった。この日、一番の笑顔が見えたのは、プランクBBQ。天然乾燥の杉板の上で食材を焼くもので、木の香りがよく肉もかなりジューシーで旨かった。そして最後の体験は伐倒。三浦さんが木を倒す方向を見定め、追いつきを作り、ふたりはハンマーでヤー(楔)を打ち込む作業を体験した。静かな山林に「トントーン」と音が響く。「与作だね」と三浦さん。「ほほう!」と納得する昭和生まれの取材陣しかし、平成生まれのマドンナふたりはキョトン。一同大笑い。和やかな雰囲気なか体験は無事に終了した。木に親しむ「木こり体験」、ぜひアナタも!

寒い林業現場に最強の味方 冷えた体を中から温めよう

よく晴れた日中でも山林は日陰が多く冷え込みやすい。ひと仕事終わったら至極の一服！ 休憩に温かい飲み物は欠かせない。フタを開ければたちまち湯気が立ち昇る。木漏れ日にくゆる湯気、思わずほっこり笑顔がこぼれる。



手袋をしたままでも持ちやすいシリコン製リング付き。フタの形状も握りやすい設計だ。本体は約390gと軽い。



休憩にランチに！
たっぷり900ml
頼もしい容量で
いつでもホカホカ



フタ部分は内部と外部のシンプルな2重のスクリューせん構造、注ぐときは上部の内部を緩める。せんははずして隅々まで洗浄可能。



衝撃を受けやすい底部分にはシリコンカバー付き。取りはずし可能でさらなる軽量化もできる。

ステンレスボトル/
FFX-901

6,500円

厳しい山岳での環境を想定して開発された「山専用ボトル」。保温力は6時間経過後も80度C以上をキープ/保温力もさることながらボディ細部も使い勝手にこだわっている。

